

千葉県湾岸地区道路検討会（第2回） の開催結果概要

令和2年5月26日（火）

国土交通省、千葉県、千葉市及び東日本高速道路（株）の4者は、今回の検討会において、以下のとおり意見交換及び確認した。

- 千葉県湾岸地区道路検討会幹事会においてこれまで沿線市と意見交換した内容をふまえて「千葉県湾岸地域における規格の高い道路計画の基本方針」を確認した。
- 今後、速やかに計画段階評価の手続きに着手し、沿線地域に丁寧に説明し、広く意見把握を行うなど、地域とのコミュニケーションを行いながら検討を進めることを確認した。

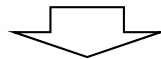
以 上

千葉県湾岸地区道路検討会幹事会の開催状況

2019年3月28日

第1回 千葉県湾岸地区道路検討会

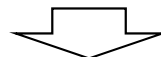
①千葉県湾岸地区道路検討会について ②千葉県湾岸地域の交通課題 ③今後の進め方



2019年9月3日

第1回 千葉県湾岸地区道路検討会幹事会

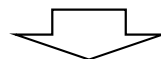
①千葉県湾岸地区道路幹事会について ②千葉県湾岸地域の交通課題 ③周辺環境に配慮すべき検討上の課題
④千葉県湾岸地域のポテンシャルと課題 ⑤今後の進め方



2020年2月6日

第2回 千葉県湾岸地区道路検討会幹事会

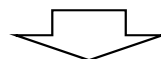
①交通課題の把握・整理 ②今後の進め方



2020年5月26日

第3回 千葉県湾岸地区道路検討会幹事会

①配慮すべき課題の把握・整理 ②整備効果の把握 ③規格の高い道路計画の考え方 ④今後の進め方



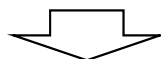
2020年5月26日

第2回 千葉県湾岸地区道路検討会

①規格の高い道路計画の基本方針（案） ②今後の進め方

沿線市の意見をふまえ、規格の高い道路計画の基本方針※を策定

※ルート・構造の基本的な考え方、配慮すべき事項



概略計画の策定（計画段階評価へ移行）

○沿線地域に丁寧に説明し、広く意見を聴取

○ルート・構造の複数案の比較、評価を実施

など

千葉県湾岸地区道路検討会幹事会（第1回） の開催結果概要

令和元年9月3日（火）

国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)の9者は、今回の幹事会において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■千葉県湾岸地域の交通課題

- 湾岸地域は、広範囲で渋滞損失が大きく、平均旅行速度が低いこと
- 船橋市～千葉市の一般道路（国道 357 号）と高速道路（東関東道、京葉道路）の総交通量は、交通容量を超過していること
- 船橋市～千葉市の一般道路（国道 14 号、国道 16 号、国道 357 号）を通行する大型車の約 4～8 割が通過交通であること
- 千葉港の機能強化や周辺の開発計画に伴い、今後、周辺道路で交通需要の増大が見込まれること

■周辺環境に配慮すべき検討上の課題

- 三番瀬再生計画との整合性の確保や、千葉港港湾計画及び周辺開発計画や環境等に配慮すること

■千葉県湾岸地域のポテンシャルと課題

- 湾岸地域は、千葉県の経済活動の中心であるとともに、国際拠点港湾である千葉港の背後に、全国的にも高いシェアを誇る産業が集積するとともに、東京ディズニーランド、幕張新都心といった観光拠点、ならびに東京湾内地域を中心とした水産業も活発であり、ポテンシャルが高いこと
- 湾岸地域の死傷事故件数は千葉県内の約 4 割に達し、そのうち、生活道路で発生する死傷事故件数が約 6 割を占めること

■今後の進め方について

- 規格の高い道路計画については、湾岸地域の交通課題の状況、ならびに千葉港の機能強化や周辺開発計画により増加する交通需要も踏まえ検討すること
- 三番瀬再生計画との整合性の確保や、千葉港港湾計画及び周辺開発計画や環境等の配慮にあたっては、民間港湾事業者や漁業関係者等への丁寧な説明を行っていくこと
- 規格の高い道路の整備効果把握にあたっては、湾岸地域のポテンシャルと課題に応じた整備効果を共有すること
- 各沿線市の湾岸地域における具体的な交通課題や将来計画について、共有すること
- 幹事会において、沿線市の意見を踏まえた、規格の高い道路計画の基本方針を確認すること
- 引き続き、幹事会において周辺自治体と意見交換を図り丁寧に検討を進めていくこと

千葉県湾岸地区道路検討会幹事会（第2回） の開催結果概要

令和2年2月6日（木）

国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)の9者は、今回の幹事会において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■湾岸地域の交通状況と課題について

- 各沿線市の湾岸地域の一般道路（高速道路を除く、一般国道、主要地方道、一般県道以上の道路）について、県平均旅行速度（32.9km/h）より約2割～約5割の速度低下が見られること
- 各沿線市の一般国道（国道14号、国道16号、国道357号、国道464号）について、市内に目的地を持たない通過交通が多いこと、また、通過交通、内外・外内交通は県内沿線市及び東葛飾地域・埼玉以北とのつながりが多く、発集地域としては、湾岸地域に多いこと
- 各湾岸地域の開発も進められており、将来の交通需要増加により更なる交通容量不足が懸念されるが、現状においても湾岸地域の各断面で交通量に対して交通容量が不足していること
- 災害時に高速道路が機能した事例があること

■今後の進め方について

- 引き続き、幹事会において周辺自治体と意見交換を図りながら、規格の高い道路計画の基本方針を確認すること
- 計画にあたっては、周辺環境へ配慮し、周辺自治体に加え、民間港湾事業者や漁業関係者等への丁寧な説明を行うこと

千葉県湾岸地区道路検討会幹事会（第3回） の開催結果概要

令和2年5月26日（火）

国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)の9者は、今回の幹事会において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■これまでの幹事会での確認事項について

- 東京都と千葉県を結ぶ湾岸地域では、都心方面と千葉県を行き交う人・モノの流れが集中し、広範囲にわたり慢性的な交通渋滞が発生しており、この解消に取り組むことが重要であること
- 千葉県湾岸地域においては、商業施設や物流施設などが集中している市街地周辺において依然として慢性的な交通渋滞が発生しており、まずは、この解消が喫緊の課題であること
- また、湾岸地域は国際拠点港湾の千葉港をはじめ、首都圏の重要な拠点を有しており、今後も港湾機能の強化や物流施設の立地等の開発計画に伴う交通需要の増大が見込まれていること
- こうした状況をふまえ、湾岸地域のポテンシャルを十分発揮させ、我が国の国際競争力の強化や首都圏の生産性向上、湾岸地域の更なる活性化のため、国道357号の渋滞対策を促進するとともに、必要な規格の高い道路として、多車線の自動車専用道路の計画の具体化が必要であること
- 外環道千葉県区間開通後の湾岸地域の交通状況を鑑み、まずは早期に整備効果を発揮できるよう、規格の高い道路として外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの湾岸部においてルートの検討を進めること
- ルートや構造の検討にあたっては、東京湾奥部に残された貴重な干潟となる三番瀬については千葉県三番瀬再生計画との整合性を図るとともに、地域の生活環境に配慮した計画とすること、また、既存の都市計画や県の確保済用地を有効に活用すること

■今後の進め方について

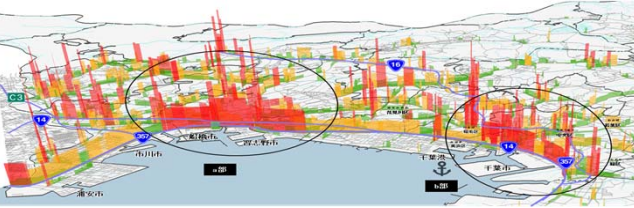
- 今後は、沿線市との意見交換のみならず、広く関係する方々の意見を把握しながら検討を行うこととし、速やかに計画段階評価の手続きに着手し、地元への丁寧な説明や意見把握を行うなど、地域とのコミュニケーションを行いながら検討を進めること
- これまでの幹事会での意見交換や確認事項について第3回千葉県湾岸地区道路検討会幹事会の結果概要として取りまとめ、第2回千葉県湾岸地区道路検討会に報告し、千葉県湾岸地区道路検討会において沿線市の意見を踏まえた基本方針を策定すること

幹事会で確認した内容(概要)

湾岸地区の道路交通状況について

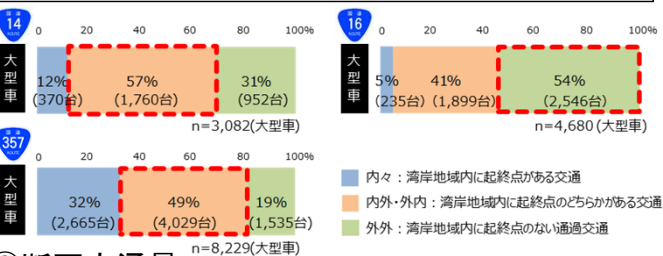
①渋滞状況

○湾岸地域は、広範囲で渋滞損失時間が大きく、平均旅行速度が低い状況



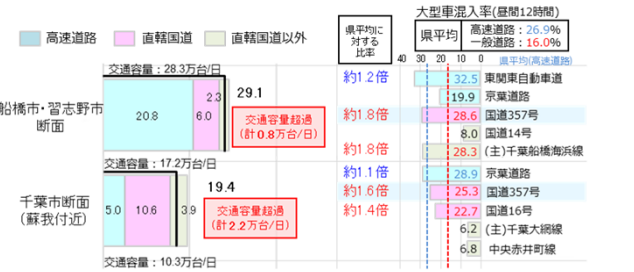
②交通特性

○大型車は湾岸地域を通過する交通及び湾岸地域内と外を結ぶ交通が多い



③断面交通量

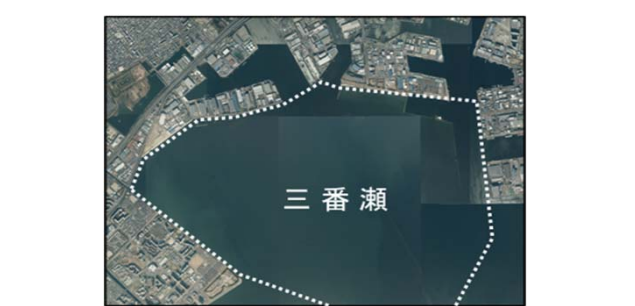
○湾岸地区の高速道路と一般道路の総交通量は、交通容量を超過



周辺環境や今後の開発について

④三番瀬

○東京湾奥部に残された貴重な干潟となる三番瀬や地域の生活環境への配慮が必要



⑤千葉港の機能強化

○今後の機能強化により取扱貨物量の増加に伴い、交通需要の増大が見込まれる

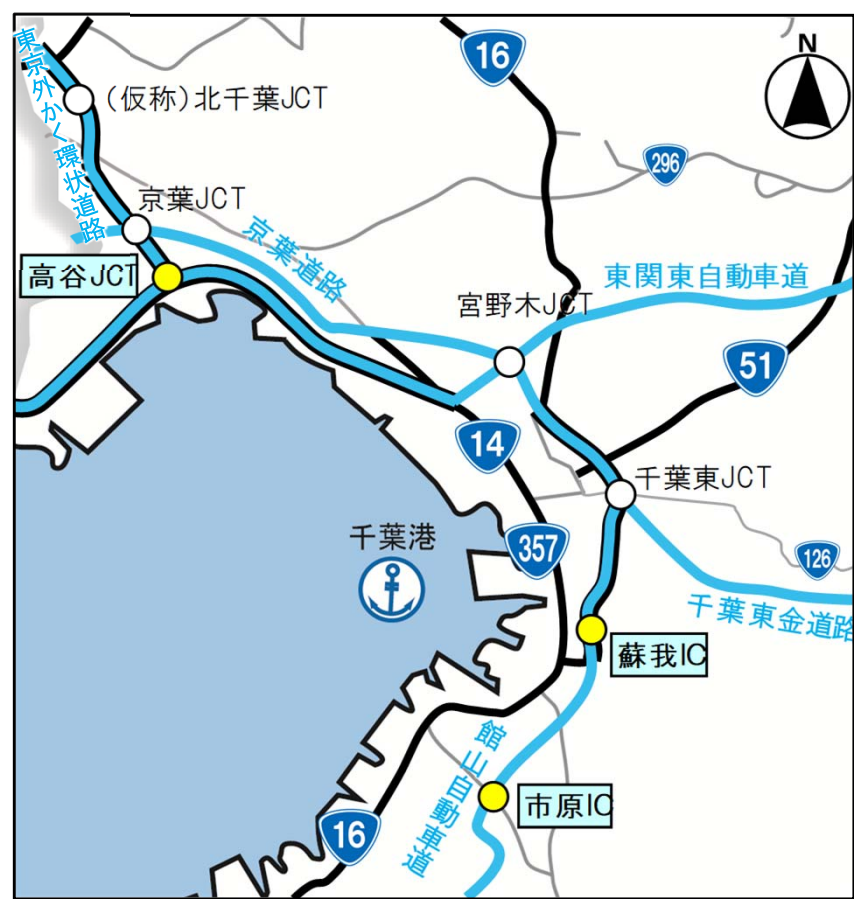


⑥湾岸地区の開発計画

○湾岸地域に物流施設をはじめとした周辺開発により、交通需要の増大も見込まれる



位置図



開催状況

- 2019年 9月 3日 第1回 千葉県湾岸地区道路検討会幹事会
- 2020年 2月 6日 第2回 "
- 5月26日 第3回 "

千葉県湾岸地域における規格の高い道路計画の基本方針（案）

千葉県湾岸地域における規格の高い道路計画について、国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)は、平成30年度に設立した「千葉県湾岸地区道路検討会」（以下、「検討会」という。）及び「千葉県湾岸地区道路検討会幹事会」において、計画の具体化に向けて、意見交換を行いながら検討を進めてきたところである。

これまでの検討結果を踏まえ、検討会において、下記のとおり千葉県湾岸地域における規格の高い道路計画の基本方針を策定する。

記

- 東京都と千葉県を結ぶ湾岸地域では、都心方面と千葉県を行き交う人・モノの流れが集中し、広範囲にわたり慢性的な交通渋滞が発生しており、この解消に取り組むことが重要であること。
- 千葉県湾岸地域においては、商業施設や物流施設などが集中している市街地周辺において依然として慢性的な交通渋滞が発生しており、まずは、この解消が喫緊の課題であること。
- また、湾岸地域は国際拠点港湾の千葉港をはじめ、首都圏の重要な拠点を有しており、今後も港湾機能の強化や物流施設の立地等の開発計画に伴う交通需要の増大が見込まれていること。
- こうした状況をふまえ、湾岸地域のポテンシャルを十分発揮させ、我が国の国際競争力の強化や首都圏の生産性向上、湾岸地域の更なる活性化のため、国道357号の渋滞対策を促進するとともに、必要な規格の高い道路として、多車線の自動車専用道路の計画の具体化が必要であること。
- 外環道千葉県区間開通後の湾岸地域の交通状況を鑑み、まずは早期に整備効果を発揮できるよう、規格の高い道路として外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの湾岸部においてルートの検討を進めること。
- ルートや構造の検討にあたっては、東京湾奥部に残された貴重な干潟となる三番瀬については千葉県三番瀬再生計画との整合性を図るとともに、地域の生活環境に配慮した計画とすること。また、既存の都市計画や県の確保済用地を有効に活用すること。
- 今後は、沿線市との意見交換のみならず、広く関係する方々の意見を把握しながら検討を行うこととし、速やかに計画段階評価の手続きに着手し、地元への丁寧な説明や意見把握を行うなど、地域とのコミュニケーションを行いながら検討を進めること。

千葉県湾岸地区道路検討会・幹事会 開催状況

(検討会)

所 属	役 職	備 考
国土交通省	道路局 企画課 道路経済調査室長	
	関東地方整備局 道路部長	座長
	関東地方整備局 千葉国道事務所長	
千葉県	県土整備部長	
千葉市	建設局長	
東日本高速道路(株)	関東支社 建設事業部長	

(幹事会)

所 属	役 職	備 考
国土交通省 関東地方整備局	道路部 道路計画第一課長	
	道路部 計画調整課長	
	千葉国道事務所長	幹事長
	首都国道事務所長	
千葉県	県土整備部 道路計画課長	
千葉市	建設局 道路部長	
市川市	道路交通部長	
船橋市	建設局 都市計画部長	
習志野市	都市環境部長	
市原市	土木部長	
浦安市	都市政策部長	
東日本高速道路(株)	関東支社 建設事業部 計画設計チーム チームリーダー	
	関東支社 千葉工事事務所長	

(開催状況)

2019年3月28日 第1回検討会開催
 2019年9月 3日 第1回幹事会開催
 2020年2月 6日 第2回幹事会開催
 2020年5月26日 第3回幹事会開催
 2020年5月26日 第2回検討会開催